

菊陽町

菊陽町は九州の中核都市である熊本市の北東部に隣接した人口39,938人（平成27年2月末現在）の町です。

町の前身「菊陽村」は菊池郡津田村、原水村、上益城郡白水村の3村が合併して昭和30年に誕生しました。その後、内陸地帯の新産業都市として工業化と農業の転換が進み、村民生活の高度化と相まって昭和44年1月、町制施行で「菊陽町」になりました。以後、主なできごとは次のとおりです。

昭和44年	町制施行、菊陽村から菊陽町になる	平成12年	総合交流ターミナル施設「さんふれあ」オープン
昭和46年	熊本市計画区域に編入される	平成13年	ソニーセミコンダクタ九州(株)熊本TEC操業開始
昭和47年	中央公民館完成	平成14年	町内巡回バス運行開始
昭和48年	町民体育館完成	平成15年	菊陽町図書館オープン
昭和49年	県営武蔵ヶ丘団地への入居開始	平成16年	人口30,000人突破
昭和53年	役場新庁舎完成 菊陽にんじんが国の野菜指定産地になる	平成18年	JR光の森駅開業
昭和59年	熊本テクノポリス計画で母都市としての地域指定を受ける	平成20年	富士フィルム九州(株)操業開始
平成元年	町民憲章、町木(杉)、町花(菊)、町の鳥(ひばり)制定	平成21年	鹿児島県屋久島町との姉妹都市盟約締結
平成4年	菊陽バイパス全線、菊陽空港線一部開通	平成25年	くまもと臨空メガソーラー完成
平成6年	鹿児島県屋久島町(現屋久島町)と姉妹都市盟約を締結	平成27年	菊陽町光の森町民センター「キャロピア」オープン
平成7年	ふれあいの森公園完成		
平成10年	菊陽杉並木公園「さんさん」オープン		



菊陽杉並木公園「さんさん」[入道水眼鏡橋]



農産物直売所や天然温泉、食事処のある「さんふれあ」



イベントやコンサートなどを行うホール併設の菊陽町図書館



JR光の森駅



菊陽町巡回バス「キャロッピー号」



菊陽中部小学校落成式

屋久島町

屋久島町は平成19年10月1日に鹿児島県の上屋久町と屋久町が合併して誕生した人口13,293人（平成27年2月末現在）の町です。

屋久島の自然は、人々の生活の中で利用され、保護され、残されてきた歴史があります。その歴史の中で優れた自然がそこで生活する人間との関わりで作り上げられ、自然資源の保護と活用により人々の暮らしの豊かさを実現することを目指しています。

昭和33年	上屋久村が町制を施行、上屋久町となる	平成元年	種子・屋久航路に鹿児島商船株ジェットfoil「トッピー」就航
昭和34年	下屋久村が町制を施行、屋久町となる	平成2年	㈱老舗恵命堂屋久島工場、新製薬工場(細粒工場)完成
昭和35年	屋久島電工株式が水力による電気事業を開始	平成5年	屋久島が世界自然遺産に登録
昭和36年	屋久島航路に折田汽船株 第20折田丸就航	平成6年	財団法人「屋久島環境文化財団」設立
	種子島一屋久島航路に鹿児島商船株屋久丸就航	平成8年	熊本県菊陽町と姉妹都市盟約を締結
昭和39年	霧島・屋久国立公園に指定される	平成11年	上屋久町地域福祉センター「縄文の苑」完成
昭和40年	町営永田診療所開設	平成12年	「屋久島環境文化村センター」オープン
昭和42年	島内一周道路(西部林道)完成	平成14年	屋久町総合福祉センター「こまどり館」開館
昭和43年	屋久島電信電話局が完成	平成19年	屋久町まごころ市「ぼん・たん館」、屋久町農業支援センター開館
昭和44年	ダイヤル即時通話開始	平成23年	「世界自然遺産会議」開催
昭和47年	町営衛生へき地診療所開設	平成25年	皇太子同妃両陛下が世界自然遺産会議へご臨席
昭和48年	町営船「太陽丸」(52トン) 口永良部～宮之浦間に就航		
昭和54年	屋久島電工安房第二発電所完成		
昭和55年	農林水産祭「むらづくり部門」で麦生集落が天皇杯獲得		
昭和56年	口永良部火力発電所完成		



まごころ市「ぼんたん館」



上屋久町・屋久町合併調印式



屋久町開庁式



屋久島町立中央中学校開校式



屋久島町制5周年記念



永田中学校閉校記念



菊陽町光の森町民センター「キャロピア」



世界自然遺産登録20周年記念 13